



あすなる

2017年7月
NO1
あすなる担当
宿毛・大月・三原ブロック
(宿毛・西グループ作成)

新しい執行部体制での平成29年度がスタートしました。あすなる第1号をお届けします。
そして、会報「あすなる」の担当も久方ぶりに変更がありました。先月の総会で次期執行部担当ブロックが輪番で作成することとなり、今年度と来年度は宿毛・大月・三原ブロックで担当させていただきます。事務研究会の会報として、少しでもお役に立てるよう情報提供をしていきたいと思っていますので、ご意見・ご感想・ご協力を是非よろしくお願いします。
夏休みに入りました。毎日暑い日が続いていますが、リフレッシュもしながら乗り越えましょう！

★ 各市町村紹介

黒潮町

代表者

(佐賀中学校)

- ☆ 研究テーマ「多忙化解消 ～事務から発信 業務改善～」

四万十市

代表者

(竹島小学校)

- ☆ 研究テーマ「学校事務の質の向上を目指して」

三原村

代表者

(三原小学校)

- ☆ 研究テーマ「学校教育に寄与する学校事務の創造」
～豊かな発想・楽しく実践～

土佐清水市

代表者

(下川口小学校)

- ☆ 研究テーマ「学校事務をふかめる」
～組織の一員としてできる学校事務を考える～

宿毛市

代表者

(山奈小学校)

- ☆ 研究テーマ「学校事務の均質化と質の向上を図る」

大月町

代表者

(大月中学校)

- ☆ 研究テーマ「学校教育に寄与する学校事務の創造」
～豊かな発想・楽しく実践～

平成29年度役員紹介

会長		四万十市立西土佐中学校
副会長		四万十市立八束小学校
研究部長		黒潮町立入野小学校
副研究部長		四万十市立東中筋中学校
会計		四万十市立東中筋小学校



新規採用の二人からのメッセージ



四万十市立下田中学校

*性 格…マイペースです。

下田中学校の北川瑛里です。高知県須崎市出身で、高校生の時に高知市内に引っ越しました。今年の3月に兵庫の大学を卒業し高知に帰ってきました。

下田中学校にきて三ヶ月が経とうとしていますが、まだわからないことばかりで周りの事務の先輩方にたくさんお世話になっています。

学校内で生徒と関わることは少ないんですが、部活動の大会の応援に行ったり、給食を生徒や先生方とランチルームと一緒に食べながら、いろいろな話ができるのがとても楽しいです。先生方や生徒のみんなから頼られる事務職員になれるよう頑張りますので、皆さんたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導よろしくお願いします。

今まであまり幡多に来たことがなかったので、これからたくさん幡多のいろいろな所に行き、良いところをたくさん発見していきたいと思っています。皆さんオススメがあればぜひ教えてください。



土佐清水市立清水中学校

清水中学校新規採用職員の菊池真希です。よろしくお願いいたします。

大阪生まれ、三重育ちで高知で暮らすのは初めてです。最近はドライブにハマっています。

室戸岬、西土佐、十和、愛南町の高茂岬など色々行きました。

おすすめの場所があったら是非教えてください！

土佐清水には何度か来たことがありましたが、実際に住んでみるといろいろな発見があって面白いです。特に、関西とこちらでは言葉が全然違うので、皆さんから幡多弁をレクチャーしていただいています。少しでも早く覚えられるよう、皆さんの会話を聞いて文法的に分析しています！今回は今まで教えてもらった幡多弁についての分析と、面白かったものを載せたいと思います。

- ・「～ばあ」：程度を表す「こればあ」「あればあ」という形をよく聞く。

「～くらい」の代用である。

- ・「～が」：格助詞「の」が「が」になっている事が多い。

例：標準語「～なの」⇒幡多弁「～なが」（関西弁「～なん」）

面白かったのは、「ぼったり」と「ぱったり」です。言葉から意味が推察できないところ、二つは言葉の形が似ているけれど全然意味が違うところが面白いです。

また、「おいでる」や「構える」、「ぬかる」の意味は分かりますが、高知以外では聞かない気がします。

幡多弁も、幡多のこともたくさん教えていただけると嬉しいです、これからどうぞよろしくお願いいたします。





四万十市立中村中学校の新しい研究事業について
総括主任に紹介してもらいました！

学校事務職員の加配による教員の多忙化解消の研究事業

今年度、中村中学校では事務職員の加配を受けて、上記の研究事業に取り組んでいます。

期間は、平成29年度～平成30年度で、高知県内で「タテ持ち」をしていて、学校事務支援室が整備されている市町村の4中学校（高知市立大津中・南国市立香長中・土佐市立高岡中・四万十市立中村中）がモデル校となり、市教委・支援室・学校が連携して「働き方改革」に取り組めます。

目的は次の通りです。

- 教員と学校事務職員の業務における効率的な役割分担の在り方について研究する
- 学校運営における事務システムの改善を進めることで、**教員が子どもと向き合う時間を拡大し、多様な教育の実施を可能とする**

では、この研究が始まった背景は何でしょう。

①学校現場における業務の適正化に向けて

国の動きとして、平成28年6月13日に文部科学省から、「次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース報告」が出ています。



②チーム学校の構築

- ・高知県教育大綱の5つの取り組みの1番目
- ・教員同士がチームを組んで学び合う
- ・外部の専門家や地域の方々の力を借りる

③事務職員に求められる職務

- ・学校経営スタッフとして 組織マネジメントを

①②③の背景があって

事務職員を使って学校の業務を改善し 教員の長時間勤務を減らし、子どもと向き合う時間を確保する。 負担感の変化、教育面での効果をという研究事業です。



取り組みは2つ

1 事務職員と教員の職務分担の見直し

- ・渉外（地域人材活用・校外学習）
- ・危機管理
- ・地域と学校の連携
- ・教育への支援
- ・学校事務支援室と連携

事務職員が担当する

2 教員の勤務実態の改善

- ・総勤務時間を減らす。勤務時間管理と教委への報告
- ・部活動の在り方
- ・業務改善・効率化、執務環境の整備
- ・会議・行事の見直し

学校全体で業務改善

モデル校の役割

- ・業務改善に向けた評価指標
- ・検証するための方針
- ・目標・計画・実行・評価
- ・他の学校へ効果を波及させる。市全体へ取組を広げる。

2年後のゴールイメージ

- ・仕事と家庭の両立しやすい職場になった。
- ・メリハリのある仕事の進め方ができた。
- ・心に余裕ができた。
- ・明るいうちに帰れる日が増えた。
- ・水曜日は部活もないし、みんなで早く帰ろうよ！
- ・教材研究の時間が増えて、授業改善ができた。
- ・子どもの話をじっくり聞くことができた。
- ・保護者とじっくり話すことができた。
- ・多忙感、負担感が減った。
- ・放課後の部活動にあたる時間が増えた。
- ・子どもの学力がもっと向上した。
- ・生徒指導上の問題が減った。
- ・不登校が減った。



なかちゅう WLB

- ・PPAPではないけど、
- ・楽しく取り組みましょう！！



ワーク・ライフ・ バランス



以上が今年度転入してきた教職員向けに説明した研究事業の概要です。勤務時間の管理としては、ICカードによる出勤・退勤時間の管理、ノー部活デー等に取り組み始めていますが、先生たちは部活のない日でも早く帰りません。業務を減らすことを学校全体で考えないと、効果がでてきません。と同時に「休み方改革」も必要で、休暇の取りやすいしくみを作らなくてはなりません。

また、一方、今まで教員が担当していた業務を事務職員が担当することも始まっています。開かれた学校づくり推進委員会事務局、校外学習や外部講師を招いての学習の依頼、放課後学習支援事業など「地域と学校を繋ぐ」業務を中心に、企画・立案し、調整し学校経営の一翼を担う、事務職員の新たな役割を創造することに取り組んでいきたいと考えています。

学校全体の業務改善のために事務職員が加配されるとういう研究事業は、画期的なことであると思います。そのチャンスを生かして、校務分掌表の改善など、校内の事務職員の位置づけ等にもアプローチしていきたいと考えます。

今年度は事務職員が2名配置になりました。私は2名配置は約30年ぶりです。自分の娘とちょうど同じ年齢のさんと、母と子コンビで楽しくがんばっています。四万十市の事務職員全体で研究のバックアップもしてくれますので、たいへん心強く感じています。研究の経過等についても、また報告させていただきます。

四万十市立中村中学校 総括主任



中村中学校の新しい取り組みにみんなが注目しています。先月の研修会でも反響がありました。

さん、さんの母子コンビ、頑張ってください。そして是非、研究の経過をお知らせ下さい。

教員の多忙化は大きな社会問題となっていますが、教員の業務改善を通して、学校で働く自分たちの「働き方改革」も考えてみる良い機会だと思います。

今の私たちの働き方は次の世代の学校事務職員の働き方に繋がっています。それぞれが自分の「働き方改革」を探ってみませんか？



毎月1回の研究部会では幡多郡内各市町村の活動の情報交換も行っています。今年度もその内容の報告を「はたっぴ〜れぽ〜と」と題してお知らせします。

4月14日(金)

- ・今年度の研究テーマを決めました。
「新しい学校事務の在り方を考える」～理想の学校組織とは～
- ・4つのグループ「研修グループ」「研究グループ」「給与の手引き」「サービスの手引き」に分かれて活動します。
※今後の研修会場で、給与の手引きやサービスの手引きを使って研修を確認しました。
- ・市町村からの報告
 - ＜黒潮町＞ 来年度「学校事務支援室」設置に向けて準備会がスタート
 - ＜四万十市＞ 中村中学校が「学校事務職員の加配による教員の多忙化解消の研究事業」の指定を受けた。
県内の『縦持ち』指導をしていて支援室のある中学校が対象。(2年間の指定)

5月19日(金)

- ・春季研修会(6/23終了)の内容について最終確認
- ・市町村からの報告
 - ＜四万十市＞ 私有車公務使用登録の再度のチェックと様式の見直しを検討中
 - ＜黒潮町＞ 町教研の事務部会に「徳島県東みよし町 さん(コミュニティースクールの実践)」を招聘

6月23日(金)

- ・春季研修会(6/23)の反省
アンケートの結果等を見ながら反省をしていきました。
出席者は82%で目標を達成しました。半日日程だったことが参加率が高かった要因でしょうか。
西部教育事務所 指導主事のお話、とっても良かったですよね。アンケートでも、5, 4ばかりでした。今後も学校で勤める事務職員として必要な研修を企画していきたいと思っています。
- ・情報交換
 - ＜黒潮町＞ 7月14日(金)「徳島県東みよし町 さん(コミュニティースクールの実践)」町外から13名の参加の予定
 - ＜宿毛市＞ 事務マニュアル作成に取り組んでいる
 - ＜総括主任研修会より＞
香南市・・・校務支援システムの導入。データ保存の分類を市で統一。個人作成のデータでも学校として保存する。
本山町・・・H29年度から学校集金のゆうちょの口座引き落とし開始(手数料は、教委が負担)
南国市・・・夏期休業中に閉庁日の設定。長時間労働の者は、医療機関の受診を呼びかける。
香美市・・・夏期休業中に1週間の閉庁日の設定。
※業務改善については、まず事務職員の業務改善をしなければならない。

各グループの研究内容について

- ・研究 事務研究会としての研究内容の検討と提案、活動報告書の作成、わかたけ原稿とりまとめ
- ・研修 研修会の企画・立案、会の流れ作成、講師との連絡調整、会場手配、研修会当日の進行
- ・給与の手引き 給与に関する規則・規程の情報収集と研修会や手引き更新による会員への情報提供
- ・サービスの手引き サービスに関する規則・規程の情報収集と研修会や手引き更新による会員への情報提供